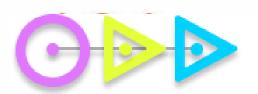
International Open Data Days 2024, Japan

オープンデータ・リブート会議

Opening: オープンデータの現在地



Open Data Day

こちらで参加:

slido.com

#1327 579





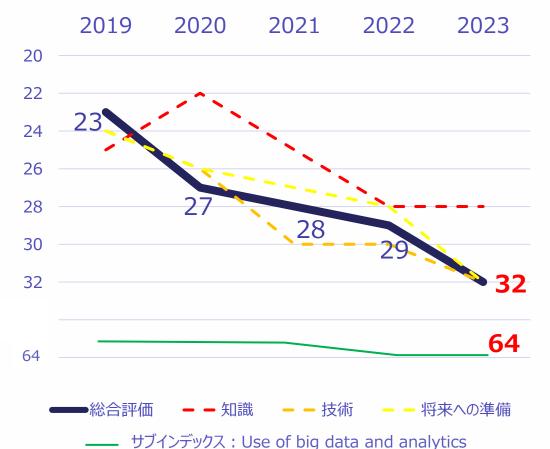
世界の中の日本

世界を取り巻く大きな流れ



◆ 世界がデジタル化する中で、日本は急速に後れを取り始めている

IMDデジタル競争カランキング2023 (64か国)



OECD OURdata Index 2023 (40ヵ国)

全体 25位 (前回2019年調査 4位)

アベイラビリティ17位 (※)高価値データのアベイラビリティ 20位34位アクセシビリティ (品質など)34位高価値データのアクセシビリティ 33位16位 (※)

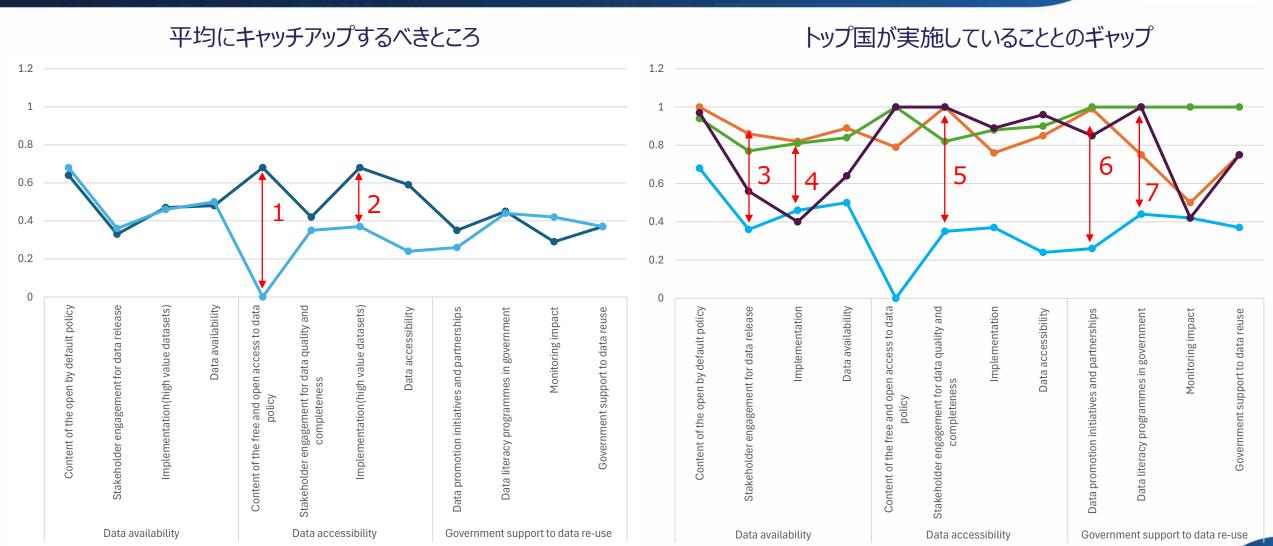
※はOECD平均より上の評価

(参考)OECD デジタル政府Index 33か国中31位

OECD OURdata Index 2023

OECD -JPN





→ KOR → POL

データの利用可能性

Content of the free and open access to data policy データへの自由でオープンなアクセスポリシーの内容



- 1. Existence of requirements on machinereadable and open formats
 - Requirements to publish open government data in machinereadable format
 - Requirements to publish open government data in open format
- 2. Existence of requirements to provide open data free of charge and with open license
 - Requirements to publish open government data free of charge
 - Requirements to publish open government data with an open license
- 3. Existence of requirements to provide timely access to disaggregated data
 - Requirements to publish open government data in a timely manner
 - Requirements to publish open government data disaggregated, when applicable
- 4. Existence of requirements to provide data through APIs
 - Requirements to publish open government data with standard API access
- 5. Existence of requirements to provide data via the central/federal open government data portal, if available
 - Requirements to publish open government data on the central/federal open government data portal
- 6. Existence of requirements on metadata
 - Requirements to publish open government data
 - Requirements to publish open government data with metadata that conforms to a metadata standard

- 1. 機械可読形式とオープン形式に関する要件の存在
 - 機械可読形式でオープンガバメントデータを公開するための要件
 - オープンガバメントデータをオープンフォーマットで公開するための要件
- 2. オープンデータを無償かつオープンライセンスで提供するための要件の存在
 - オープンガバメントデータを無償で公開するための要件
 - オープンガバメントデータをオープンライセンスで公開するための要件
- 3. 細分化されたデータへのタイムリーなアクセスを提供する要件の存在
 - オープンガバメントデータをタイムリーに公開するための要件
 - 該当する場合は、オープンな政府データを細分化して公表する要件
- 4. APIを通じてデータを提供するための要件の存在
 - 標準的な API アクセスでオープンガバメントデータを公開する要件
- 5. 政府のオープンガバメントデータポータルがある場合は、それを通じてデータを提供する ための要件の存在
 - 政府のオープンガバメントデータポータルでオープンガバメントデータを公開するための要件
- 6. メタデータに関する要件の存在
 - オープンガバメントデータを公開するための要件
 - メタデータ標準に準拠したメタデータとともにオープンガバメントデータを公開するの要件

データへのアクセス性

Implementation (accessibility of high value datasets) 導入(ハイバリューデータセットへのアクセス性)



1. Central portal access

- Percentage of high value datasets that are available as open data (Pillar 1.3) and accessible through the central/federal open data portal
- There is a central/federal open government data portal
- 2. Metadata quality
 - Percentage of high value datasets that are available as open data (Pillar 1.3) and provided with standardized metadata
 - Percentage of high value datasets that are available as open data (Pillar 1.3) and provided with complete metadata
- 3. Open format
 - Percentage of high value datasets that are available as open data (Pillar 1.3) and provided in at least one open format
- 4. Up to date
 - Percentage of high value datasets that are available as open data (Pillar 1.3) and that are up to date
- 5. API access
 - Percentage of high value datasets that are available as open data (Pillar 1.3) and that can be access through a standard API

- 1. 中央ポータルへのアクセス
 - オープンデータとして利用可能で、政府のオープンデータ・ポータル からアクセス可能なハイバリューデータセットの割合
 - 政府のオープンデータポータルがある
- 2. メタデータの質
 - オープンデータとして利用可能で、**標準化**されたメタデータとともに 提供されているハイバリューデータセットの割合
 - オープンデータとして利用可能で、完全なメタデータとともに提供されているハイバリューデータセットの割合
- 3. オープンなフォーマット
 - オープンデータとして利用可能で、少なくとも一つのオープンフォーマットで提供されているハイバリューデータセットの割合
- 4. 最新版
 - オープンデータとして利用可能で、かつ最新であるハイバリューデータセットの割合
- 5. APIアクセス
 - オープンデータとして利用可能で、標準的なAPIを通じてアクセスできるハイバリューデータセットの割合

トップの国が実施しているが日本でできていない項目



- 3. Stakeholder engagement for data release(データ公開に対する関係者の関与)
 - User driven data release
 - Guidelines and practices on data inventories
 - Frequency of consultations on open data plans
- 4. Availability of high value datasets (ハイバリューデータセットの利用可能性)
 - Availability of high value datasets
- 5. Stakeholder engagement for data quality and completeness(データの品質や完全性に対する関係者の関与)
 - Feedback mechanisms on the central/federal open government data portal
 - User-driven central/federal open government data portal
- 6. Data promotion initiatives and partnerships (データの普及活動やイニシアチブ)
 - Existence of data awareness programmes for businesses and civil society
 - Frequency of specific events to support data re-use among businesses and the civil society
 - Existence of formal partnerships with businesses and civil society
- 7. Data literacy programmes in government (政府内でのデータリテラシー向上プログラム)
 - Training events for public officials to support trustworthy data publication and use
 - Internal communication and consultation to support implementation



日本と主要国の取り組み

日本のオープンデータ推進



- ◆「オープンデータ基本指針」に基づき推進。1.9万データセット。
- ◆ 自治体標準データセットのデータモデルを提供。





自治体標準データセット

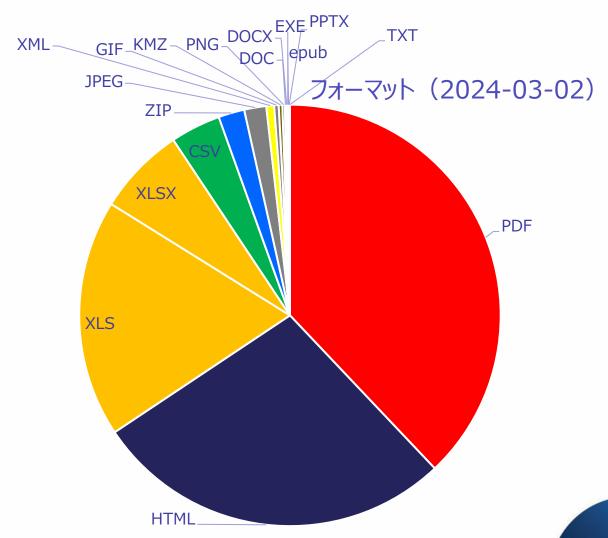
- 1. 公共施設一覧
- 2. 文化財一覧
- 3. 指定緊急避難場所一覧
- 4. 地域·年齢別人口
- 5. 子育て施設一覧
- 6. オープンデータ一覧
- 7. 公衆無線LANアクセスポイント一覧
- AED設置箇所一覧
- 9. 介護サービス事業所一覧
- 10. 医療機関一覧
- 11. 観光施設一覧
- 12. イベント一覧
- 13. 公衆トイレー覧
- 14. 消防水利施設一覧
- 15. 食品等営業許可·届出一覧
- 16. 学校給食献立情報
- 17. 小中学校通学区域情報
- 18. ボーリング柱状図等(データ項目は外部サイトにて定義)
- 19. 都市計画基礎調査情報
- 20. 調達情報
- 21. 標準的なバス情報フォーマット
- 22. 支援制度(給付金)情報

カタログに登録されたデータセット



- ◆ 直近1年間の追加データ18,031件。
- ◆ 直近3か月の追加データ305件。





米国のオープンデータ推進

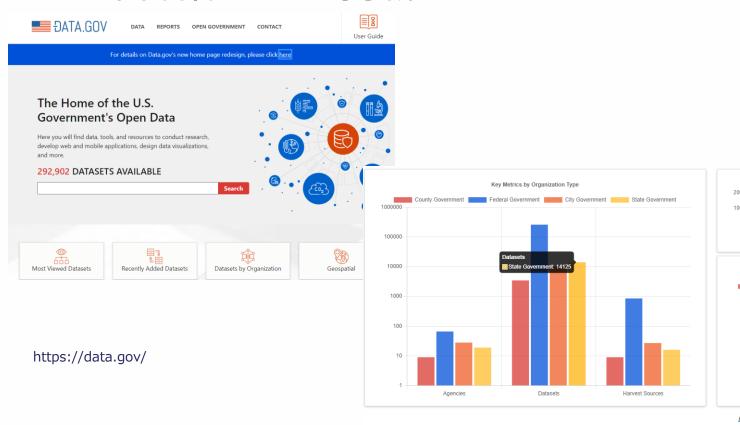


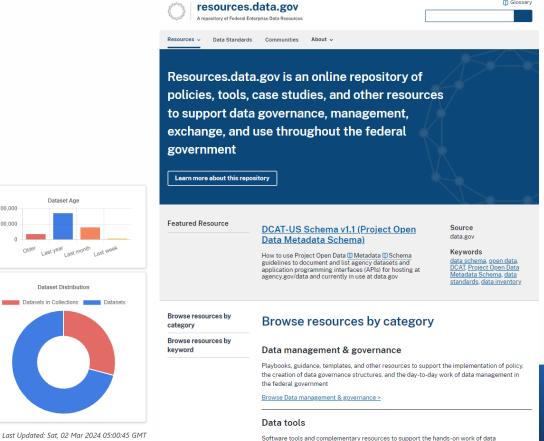
◆ OPEN Government Data Act (2018) に基づきデータポータルを設置

Dataset Age

Dataset Distribution

- ◆ Federal Data Strategyや関連ポリシーに従い推進。ツール類も提供。
- ◆ 自治体データも掲載

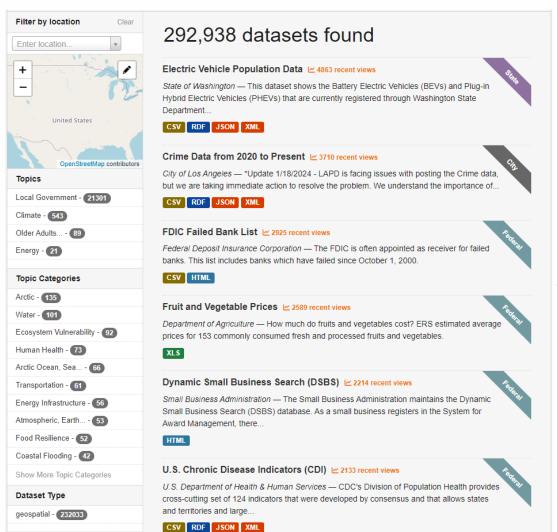


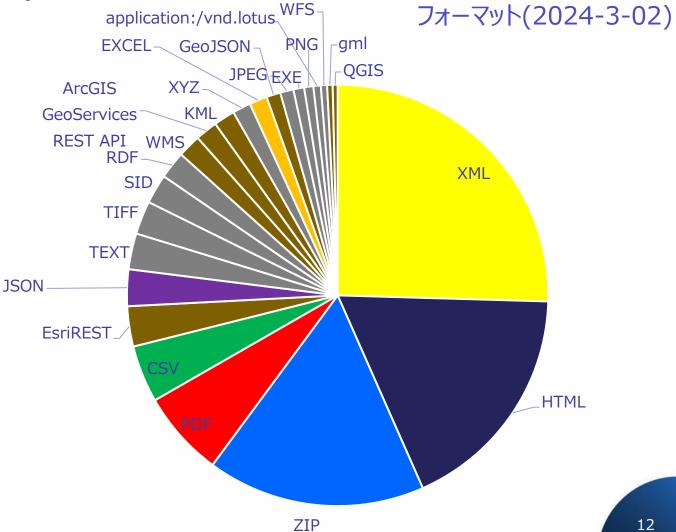


カタログに登録されたデータセット



◆ 29万データセット。XML、HTMLが多い。

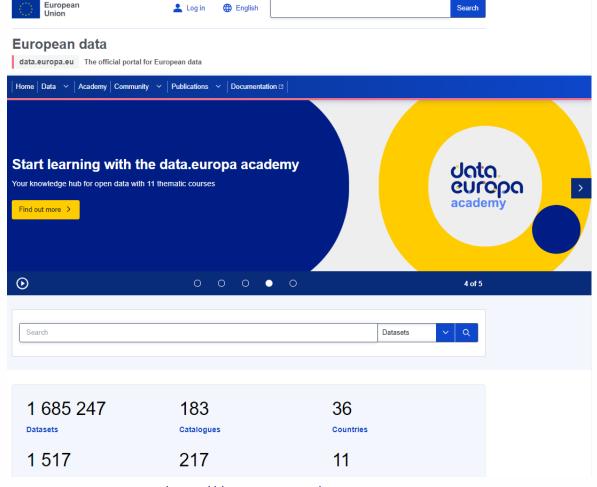


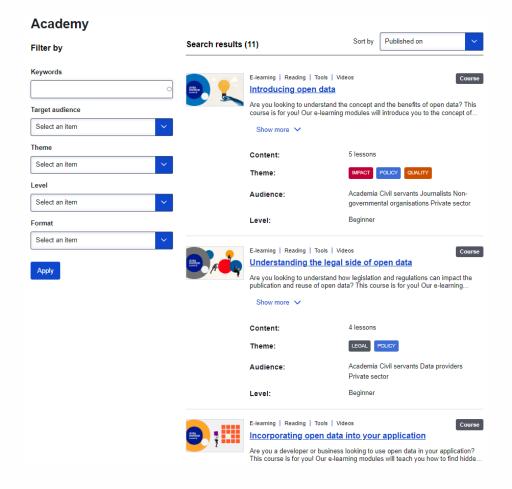


欧州のオープンデータ推進



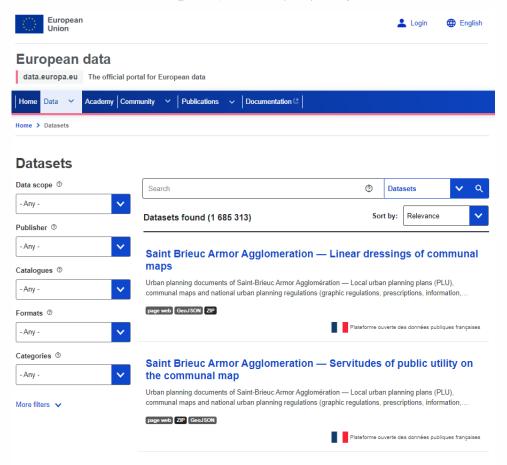
オープンデータを強力に推進し、教材も提供

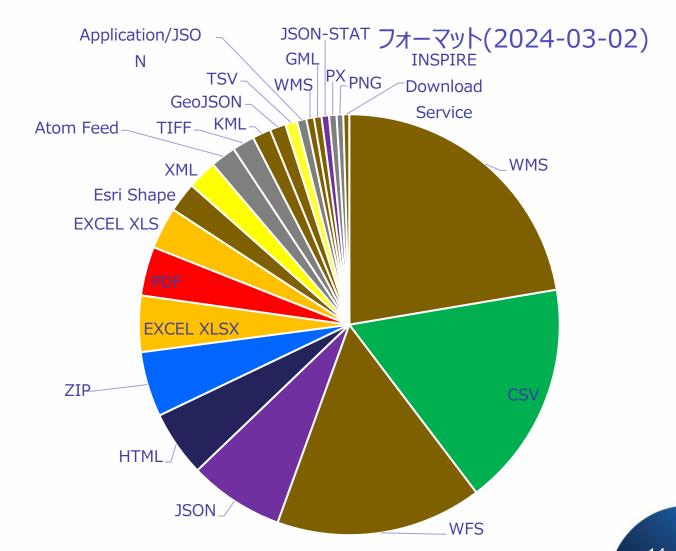






- ・ 168万データセット。
- ・ 地理空間データが多い。







AIの影響

ODI SUMMIT 2023: DATA CHANGES 7 November, free and online

"Without data, there is no Al."

Sir Nigel Shadbolt, Executive Chair & Co-founder, ODI

AIとオープンデータの関係性



- オープンデータとAIはどのように密接に関係しているのか
 - オープンデータと AI は、互いの能力をサポートし、強化する可能性を秘めています。一方で、オープンデータは AI システムを改善することができます。一般に、AI システムをより大量かつ多様な データにさらすと、システムが正確で有用な予測を返す可能性が高まります。そのため、オープンデータは AI システムに大量の多様な情報を供給することができます。このように、オープン データ の利用可能性は AI のパフォーマンス向上に貢献します。
 - ・ 一方で、AI はオープンデータからさらなる価値を引き出すことができます。AI は大量のデータを分析し、他の分析手法では明らかにされなかった傾向やパターンを特定できます。オープンデータに は、洞察を引き出すための豊富な情報と複雑なパターンが含まれています。これにより、AI は強力な分析ツールとして、オープンデータの価値を活用できます。
- ◆ AI は幅広いオープンデータから恩恵を受けることができます
 - オープンデータには幅広い主題分野が含まれます。このさまざまなデータにより、AI システムを開発できるユースケースが広がり、新しい AI 主導の製品やサービスが可能になります。これらのユースケースは、関連データが利用可能でアクセスしやすい場合にのみ開発できます。オープンデータなどを通じて多様なデータセットを無料で利用できることは、イノベーションを推進し、新たな経済機会をもたらすために不可欠です。革新的な AI システムが社会が直面する課題の解決に役立ち、社会経済的価値を生み出すことが期待されています。
 - オープンデータが AI システムに提供できる多様な情報プールは、特に、複数のトピックに関するデータを組み合わせて新しい洞察を引き出す学際的なアプリケーションを可能にします。
- AI はオープンデータの深さから恩恵を受けることができます
 - オープン データの対象領域の広さにより、AI システムの広範なユースケースが可能になりますが、特定のユースケースで広範なオープンデータを利用できるため、AI システムのパフォーマンスが向上します。
 - 主題を包括的に表すデータにより、AI システムはより幅広いシナリオやバリエーションにさらされるようになります。最終的に、これにより、AI モデルは現実世界の状況でより優れたパフォーマンスを発揮し、新しいデータ に直面したときに知識を一般化できるようになります。代表的ではないデータや不完全なデータに基づいてトレーニングされた AI システムは、偏った予測を行ったり信頼性が低くなったりするリスクがあります。
- 高品質の AI は高品質のオープンデータに依存します
 - オープンデータの完全性は、AI システムが「現実世界」の運用に導入された後、未知の例に一般化できる能力に貢献しますが、データ品質の概念にも貢献します。データ品質の特性には、開発中のユースケースにおけるデータの完全性、関連性、一貫性、均一性、信頼性が含まれます。
 - 科学分野におけるオープンデータへの取り組みのいくつかは、データの構造化カタログと標準化されたデータ形式を備えたオープンリポジトリの影響を実証しています。
 - 新しい製品やサービスのためのオープンデータに対する需要が高まると、より多くのデータセットのリリースやデータ品質の向上が促進される可能性があります。
- ◆ オープンデータは現実世界の AI アプリケーションを可能にします
 - ヨーロッパでは、新しいアプリケーションのための AI システムでオープンデータが使用されている例がいくつかあります。

データ戦略の具体化



- ◆ 2023年12月「AI時代の官民データの整備・連携に向けたアクションプラン」を公表
 - 1. 品質が確保された活用しやすいデータを整備しオープンにする
 - ①政府情報システムにおけるデータの標準化を加速するため、データ標準の実装 状況やニーズについて調査し、データ標準化の基本ルールである政府相互運 用性フレームワーク(GIF)を見直し、政府情報システムにおける活用に向 けた普及を強化する。
 - ②法人・不動産登記情報、住所・所在地情報を注力領域として、ベース・レジストリの整備を進める。このため、必要な法的手当を講ずるとともに、各府省と協力して、ベース・レジストリの整備に関する計画の策定を検討。
 - ③ 生成AIでの活用を見据え、AI学習ニーズがある行政保有データについて、 AI学習容易な形に変換する実証を行う。また、AI開発者向けのコミュニケーション窓口を整備し、ニーズがあるデータのオープンデータ化を進める仕組みを構築。

- 2. 整備したデータを安心して活用・連携できるツール・仕組みを整備する
- ①<u>公共分野</u>(公共サービスメッシュ等)、<u>準公共分野</u>(医療、教育、防災、モビリティ等)におけるデータ連携基盤等の構築を進める。

(例:医療分野→標準規格に準拠したクラウドベースの電子カルテを開発し、医療機関等でカルテ情報を共有、防災→住民が災害時に的確な支援を受けられるようにするためのアーキテクチャを設計し、データ連携基盤構築・実証を推進等)

- ②欧州をはじめ海外での取組も踏まえ、トラストを確保したデータ連携に向けた 実証(蓄電池・鉄鋼サプライチェーン等)を進めるとともに、そのデータ連携に 必要なコネクタ等のツールを整備する。
- ③DFFTのさらなる推進のため、国内外ステークホルダーの定期的な意見交換の場を持ち、OECDに設置されるIAP(DFFT具体化のための国際枠組み)における議論のための国際データガバナンスやデータ利活用に係る課題を洗い出し、IAPの下に開催されるWGでの個別プロジェクトを提案していく。

(3) 合わせて、上記アクションの実施に必要な体制を整備する

少子高齢化等の課題先進国である日本として、データを利活用して社会課題を解決する



まとめ

OECD調査から



- ◆ 方針をしっかりする(方針)
 - 機械可読
 - 利用規約
 - タイムリーな公開プロセス
 - APIの推進
 - ポータルの充実
 - メタデータの推進
- ◆ ハイバリューデータセットのオープンデータ化の加速
- ◆ データ公開に関する関係者への啓発
- サデータ品質の強化
- ◆ 行政職員のリテラシー向上

データ供給の拡大、充実



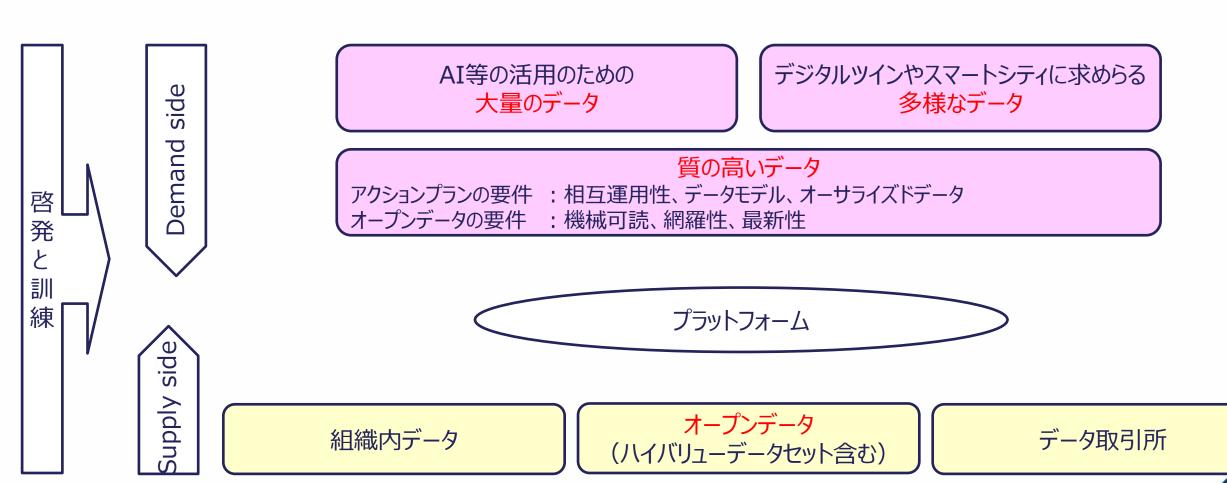
- ◆ OECDによると日本はハイバリューデータセットの整備やアクセス環境の提供が十分でない。
- ・ データの量が少なく、機械判読性も十分とは言えない。

フォーマット(2024-03-02)	米国	フォーマット(2024-03-02)	日本	フォーマット(2024-03-02)	欧州
XML	143,908	PDF	9,679	WMS	392,735
HTML	101,279	HTML	7,068	CSV	304,961
ZIP	94,631	XLS	4,650	WFS	278,678
PDF	37,259	XLSX	1,733	JSON	128,419
CSV	24,769	CSV	983	HTML	89,056
EsriREST	17,448	ZIP	510	ZIP	87,937
JSON	15,899	JPEG	431	EXCEL XLSX	76,005
TEXT	15,577	XML	153	PDF	66,250
TIFF	14,423	GIF	88	EXCEL XLS	56,493
SID	12,795	KMZ	71	Esri Shape	40,415
RDF	11,913	PNG	47	XML	39,968
WMS	9,997	DOC	26	Atom Feed	34,349
ArcGIS GeoServices REST API	9,625	DOCX	24	TIFF	29,950
KML	9,188	EXE	16	KML	24,854
XYZ	7,924	epub	13	GeoJSON	21,488
EXCEL	7,700	PPTX	12	TSV	16,076
GeoJSON	6,109	TXT JSONでの提供は0件	9	Application/JSON	12,760

2030年に世界と並べるかという視点からの推進



◆ 各国は2030年頃を目標にデータ戦略を進めており、オープンデータはその基盤である。





議論

リブートするために必



◆ 今までの10年を振り返って、「何ができて」「何が課題だったのか」

できたこと
• ○○○○○○○○○

何が課題だったのか〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

◆「課題」を突破するためには何をするべきか

今すぐすべきこと• 00000000000

中長期ですべきこと
• ○○○○○○○○○○